

標準施工仕様書

用途：建物の内外装 適用下地：窯業系サイディング・コンクリート・モルタル・スレート各種建材

○下地調整

1	・既存塗膜の浮き、膨れ、脆弱部は除去し既存模様段差など周辺模様に合わせて復元させてください。 ・汚れ、付着物、チョーキングなどは高圧洗浄機（10～15MPa）で除去し、十分に乾燥させてください。 ・劣化した目地材などは除去し、シーリング材を充填させてください。 ・コンクリート・モルタルは含水率10%以下、pH10以下で施工してください。
---	---

○下塗り

工程		材料名	調合 (%)	標準塗布量 (kg/㎡)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
2	下塗り	セラガラスシーラー	無希釈	0.1～0.19	1	3 h 以上	刷毛・ウールローラー スプレー
2	下塗り	セラガラスシーラー-EPO	無希釈	0.1～0.2	1	3 h 以上	刷毛・ウールローラー スプレー
2	下塗り	セラガラスフィラー-EPO	水道水 5～7	0.3～0.6	1	5 h 以上	ウールローラー
			水道水 2～4	0.8～1.5	1		多孔質ローラー
			水道水 4～6	0.7～1.2	1		リシガン口径4～6mm 吹圧0.5～0.6MPa

○上塗り

工程		材料名	調合 (%)	標準塗布量 (kg/㎡/ 1 回)	塗回数	塗装間隔 (23℃)	施工方法
3	上塗り	セラガラスエックス（艶有・5分・3分）	水道水 0～3	0.12～0.18	2	3h以上	刷毛・ウールローラー
3	上塗り	セラガラスエックス（艶消し）	水道水 0～3	0.12～0.18	2	3h以上	刷毛・ウールローラー

記載の塗装間隔・所要量は標準的なものであり、施工方法、被塗物の形状、素地の状態などにより多少異なる場合があります。

施工上の注意事項・要点

●塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上または、換気が不十分で結露が考えられる場合は、塗装を避けてください。●飛散防止のため養生を施行してください。●艶調製品では、刷毛・ローラーでの塗装は塗継や補修でムラが出やすくなりますので、塗継が出ないような塗装方法で対処してください。●艶調製品は塗装面の形状、素地状態、塗膜厚、乾燥時間、希釈率の差違や過剰な希釈などで実際の艶と異なる場合がありますので、必ず試し塗をして確認してから施工してください。●使用前は製品内で成分が均一ではない場合がありますので、攪拌機を用いて十分に攪拌してからご使用ください。●防藻・防カビ効果は繁殖を抑制するものです。既に繁殖が確認できる場合は、完全に除去、殺菌処理をしてから施工してください。また、コケ類やカビ類が多く生息している場合はメーカーにご相談ください。●塗装面の形状、部位、仕上がり形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発揮出来ない場合があります。●塗装後、乾燥が不十分な状態で降雨がある場合や結露がある場合、塗膜異常が発生する恐れがあります（白化、膨れ、塗膜流れ、割れ、しみ）。また、暴風など天候が劣悪の場合は塗装を避けてください。●スプレー塗装をする場合、ノズルの先端は適度に掃除しながら行ってください。塗布量不良や塗ムラの原因となります。また、飛散防止には十分に配慮してください。●反応硬化型の塗料の為、水性用塗装具を使用して施工してください。刷毛などはナイロン製の刷毛をご使用ください。また、塗装後の塗装具はなるべく早く、洗浄してください。●著しく吸い込みがある下地では、標準塗布量を超えて塗装する場合があります。●タイル面で薬品洗浄などした場合、薬品が塗装面に残基していると密着不良、変色、早期劣化が生じる場合があります。十分、注意して施工してください。●ALC版、多孔質下地、コンクリートブロック面の素地において、巣穴や段差がある場合は樹脂入セメント系下地調整剤を推奨しています。●塗装後、直ぐに手を触れるような箇所では、触れると塗装表面の軟化が起こる場合があります。接触防止など対策をしてください。●内装などでの塗装は十分な換気を行ってください。●シーリング部への塗装は塗膜汚染、膨れ、割れなどの不具合が生じる事がありますので後打ちを推奨しています。●塗膜に長時間、水が滞留する場所では、塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、十分に注意してください。また、防水専用ではありませんので水が溜まる箇所は防水専用の材料を使用してください。●上塗りに鮮えた色相を使用する場合、共色を下塗りしてから塗装してください。また、塗装面が突っ立ったような箇所では共色の下塗りをして隠すように事前に行ってください。●塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などが接触する可能性がある場合は十分にご注意ください。●補修塗装では、補修部分が目立つことがあります。補修の際はロット番号、希釈率、補修方法などを同一にしてください。●刷毛塗上とローラー仕上が混在する場合、仕上がりが肌質が異なるため、若干の色相差が出る場合があります。●ローラー塗する場合、ローラー目を同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目の肌質の違いで色相差が出る場合があります。●可塑性が多く含まれている塩ビクロス、塩ビ被覆鋼板、塩ビラミネート、ゴムパッキング、合成皮革は塗装を避けてください。●素材や素地の状態によって、吸い込みや、巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ、研磨工程が必要になる場合があります。各種建材などは製造メーカーが推奨する補修材、工法で補修してください。●開封後はなるべく、一度に使い切ってください。保管する場合は密栓して冷暗所に保管し、出来るだけ早く使い切ってください。●大気中に浮遊鉄成分（鉄粉）など多い地域では、塗膜に鉄成分が付着し、塗装面が赤色に変化したように見える場合があります。●横倒しにすると塗料が漏れたり容器の変形の恐れがありますので、運搬や保管に注意してください。●塗料、塗料容器、塗装具は都道府県、または、市町村の規則に従って産業廃棄物として適切に破棄してください。●塗料容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境汚染を及ぼす場合がありますので適切な設備にて行ってください。●乾燥した塗装面の洗浄はシンナーではなく、水または中性洗剤で行ってください。

安全衛生上の注意事項

●本来の用途以外には使用しないでください。●使用する前に取り扱いについて十分に理解してから使用してください。●取り扱い後は十分な手洗いやうがいをしてください。●必要に応じて保護具をしてください。●飲み込んだ場合、直ぐに口をすすぎ、医師の診察を受けてください。●目に入った場合は、直ぐに水道水で洗浄し、医師の診断を受けてください。●施工中、気分が悪くなった場合は無理せず、安静にしてください。治らない場合は速やかに医師の診断を受けてください。●子供の扱えない場所に保管してください。●直射日光は厳禁です。●塗料缶の積み重ねは3段までとし、地震などで倒れないよう固定してください。●運送中に50℃を超えるような環境で運搬しないでください。

本カタログ掲載商品の詳細、危険有害性情報や使用上の注意事項については、必ず安全データシート（SDS）をご参照ください

株式会社グリーンドウ 東京都港区芝 5-29-17 TEL 03-5419-1351 東京・札幌・沖縄

※本カタログの内容については、予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

2024.09